

第 2 次丹波市男女共同参画計画の推進状況

第 2 次丹波市男女共同参画計画においては、基本理念「今 共に生き 助け合う社会へ」のもと、①男女共同参画社会のさらなる推進のための意識改革、②政策・方針決定の場における女性の参画拡大、③仕事と生活の調和のための環境づくり、④誰もが安全で安心して暮らせる社会づくり、の 4 つの基本目標を掲げ、それぞれの基本方針に沿った実施計画のもと様々な施策に取り組んでいる。

平成 29 年度における具体的施策の進捗状況及び自己評価については、以下のとおりである。

* 自己評価の基準

A : よく取り組んでいる

B : 少しは取り組んでいる

C : 検討はしているが取り組めていない

D : 検討も取り組みもしていない

○【自己評価】欄は、基本方針ごとの平成 29 年度の施策の推進状況について、A～D で評価した施策数を記載しています。

○年度別、体系別の施策評価数の一覧は、資料 6 - 1 のとおり

○各施策の詳細な取組状況については、資料 6 - 2 のとおり

I 男女共同参画社会のさらなる推進のための意識改革

1 男女の人権尊重意識の定着

【取組状況】

毎年、男女共同参画講演会を開催するとともに、自治会男女共同参画推進員を対象とした研修会を開催し、自治会内での男女共同参画意識の定着を図った。

また、TAMBA 地域づくり大学において、「女性の活躍」講座を開催し、女性自身がやりたいことを実現するために必要な手法を学ぶ機会を提供した。

市広報紙や FM 805 たんばの人権啓発番組など、あらゆる広報、啓発手段により意識改革に努めた。

○男女共同参画講演会参加者

H29 245 人

○男女共同参画推進員設置自治会

H29 282 自治会(設置率 94.3%)369 名

○男女共同参画推進員研修会参加者

H29 136 名(出席率 36.9%)

【課題】

- ・意識改革のための実効性ある施策の展開
- ・男女共同参画推進員研修会への参加促進
- ・効果的な広報手段の検討

【自己評価】

A : 2	B : 4	C : 0	D : 0
-------	-------	-------	-------

2 男女共同参画の視点に立った家庭づくり、地域づくりの推進

【取組状況】

自治会男女共同参画推進員研修において、推進員の役割や地域での具体的な取組事例の紹介を行うとともに、男女共同参画推進補助事業制度により、地域での自主的な啓発、学習活動の支援を行なった。また、推進員研修会講師や、自治会での学習会の講師を地域で男女共同参画を進める団体に依頼するなど、地域団体との連携に努めた。

- 男女共同参画推進員研修参加者 H29 136名(出席率36.9%)【再掲】
- 同参加者のうち理解が深まった者 H29 100人(73.0%)
- 男女共同参画推進事業補助金活用団体 H29 14団体

【課題】

- ・男女共同参画推進事業補助金の活用促進
- ・自治会男女共同参画推進員との連携強化
- ・男女共同参画に関する情報の発信

【自己評価】

A : 4	B : 11	C : 3	D : 0
-------	--------	-------	-------

3 男女共同参画の視点に立った学校教育等の推進

【取組状況】

小中学校においては、「道徳の時間」に男女平等の視点に立った教材により学習を行うとともに、トライやる・ウィークでの性別にとらわれない職業意識の醸成や、性別にとらわれない進路選択意識の醸成に努めた。

また、3年以内の若手教職員を対象とし、人権課題についての研修会を開催し、人権共存の考え方への理解を深めた。

- 男女混合名簿、集会での男女混合整列、小学校での男女合同体育 完全実施済
- 丹波市人権研修会参加者 H29 57名
- 女性管理職登用試験受験者 H29 校長0名・教頭1名・主幹教諭3名

【課題】

- ・女性管理職登用に向けた管理職試験受験の呼びかけ
- ・LGBTなど多様な人権課題に対応する研修会の実施

【自己評価】

A : 5	B : 0	C : 1	D : 0
-------	-------	-------	-------

Ⅱ 政策・方針決定の場等における女性の参画拡大

1 地域活動等の場における男女共同参画の推進

【取組状況】

男女共同参画推進員研修において、女性役員の登用を進める自治会の事例紹介を行い、自治会で男女共同参画を進めるうえでの課題について情報交換を行った。

地域に密着した防災、防犯の分野においては、女性交通指導員が小中学校を対象とした交通安全教室などにおいて活動できるよう支援を行なった。

- 女性自治会長 H29 2名/299名
- 女性交通指導員 H29 22名/48名
- 女性消防団員 H29 10名（新規入団者2名）

【課題】

- ・自治会役員への女性登用に向けた仕組みづくり
- ・女性の視点を取り入れた防災、防犯活動

【自己評価】 A : 2 B : 2 C : 2 D : 0

2 働く場における男女共同参画の推進

【取組状況】

丹（まごころ）ワークサポートたんばにおいて、心理相談やキャリアコンサルティング等の無料相談を実施し、きめ細かな就業支援を行った。また、起業をめざす市民を支援するチャレンジカフェを開設し、起業に向けたセミナーの開催、専門家による相談、アドバイスを実施した。

- 丹ワークサポートたんば利用者 H29 利用者数 4,988人
- 有望起業家支援窓口事業 H29 相談件数 1,322件（うち女性 404件）

【課題】

- ・事業所への女性管理職等の登用の啓発
- ・丹（まごころ）ワークサポートたんばの更なる周知による利用者拡大

【自己評価】 A : 4 B : 0 C : 1 D : 0

3 市行政における積極的な男女共同参画の推進

【取組状況】

女性職員の政策形成能力を高め、市政参画意欲の醸成を図るとともに、女性による市内ネットワークを形成する「たんば職員チャレンジ・プログラム」を実施した。

「丹波市審議会等の委員への女性登用推進要領」に基づき、審議会委員への女性の登用を推進した。

- 管理職に占める女性割合 H29 9.4%
- 審議会委員女性登用率 H29 27.6% (目標：H30 30%)

【課題】

- ・ 審議会等委員への女性登用のさらなる推進
- ・ 男女を通じた働き方に対する意識改革
- ・ 市内での男女共同参画推進体制の確立

【自己評価】 A : 0 B : 4 C : 0 D : 0

Ⅲ 仕事と生活の調和のための環境づくり

1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

【取組状況】

多様な保育ニーズに対応するため、延長保育、一時保育、病児保育等の特別保育の充実に努めるとともに、アフタースクール事業やファミリーサポートセンター事業の実施により子育てと仕事の両立を支援した。

また、障がい者やその家族の生活を支援する相談支援事業所を開設した。

- アフタースクール利用者数 H29 延べ 165,434 人
- 障がい者相談支援事業所での相談件数 H29 949 件 (身体・知的・精神)

【課題】

- ・ ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた事業主・労働者の意識改革
- ・ 男性の家事・育児への参画促進の支援

【自己評価】 A : 11 B : 1 C : 0 D : 1

2 女性のチャレンジ支援

【取組状況】

新たに起業する者の店舗改装や設備等の初期投資費用などを助成し、女性の起業を支援した。また、母子家庭の母の就職または経済的自立に効果の高い資格取得を促進するため、給付金を支給し生活費の負担軽減を行った。

- 新規起業支援事業補助 H29 補助件数 9 件 (うち女性 2 件)
- 高等職業訓練促進給付金 H29 准看護師資格取得 1 名

【課題】

- ・様々な分野で活躍する女性のネットワークづくりの推進

【自己評価】

A : 2	B : 3	C : 0	D : 0
-------	-------	-------	-------

IV 誰もが安全で安心して暮らせる社会づくり

1 あらゆる暴力の防止と根絶

【取組状況】

配偶者等からの暴力については、丹波市DV対策基本計画に基づき、適切な被害者支援を行った。また、「第2次丹波市配偶者等からの暴力対策基本計画」を策定し、平成30年度から5年間の具体的な取り組みを明確にした。また、児童虐待等についても要保護児童対策地域協議会において、関係機関で連携による包括的な支援に取り組むとともに、児童虐待対応マニュアルを更新し、関係者に配布した。

- DV被害者相談件数 H29 延べ29回
- 心を育む講演会参加者 H29 219人

【課題】

- ・配偶者暴力対策支援センターの設置に向けた検討
- ・学校におけるDV防止教育の推進
- ・DV防止のための普及啓発の推進

【自己評価】

A : 4	B : 0	C : 0	D : 0
-------	-------	-------	-------

2 高齢者や障がい者が安心して暮らせる環境づくりの推進

【取組状況】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、地域包括支援センターにおいて、総合相談、支援を実施した。

第6期介護保険事業計画に基づき、介護保険事業の円滑かつ着実な推進を図るとともに、認知症介護者相談や、介護者のつどいなどを開催した。

障がい者が住み慣れた地域で生活できるよう、相談支援事業、在宅等の障害福祉サービスの提供や就労支援などを実施した。

- 地域包括支援センター総合相談件数 H29 4,651件
- 認知症介護者のつどい「ほっと」参加者 H29 延べ61人
- 障害福祉サービス実利用者 H29 475件

【課題】

- ・家族、地域住民の認知症に対する理解の促進

